祝!! 第15回日本物理学会Jr.セッション
全国最多!!　4チームが入賞

■大会の特徴

数あるJr.セッションの中でも15回目を数えるこの大会は、日本天文学会Jr.セッション（22回）に次いで早くから行われているため、伝統も長く形式も洗練されている大会です。

- ・一般社団法人日本物理学会が主催している
- ・12月7日締め切りで、論文審査が行われる（今回は131件の応募があり、80件が採択）
- ・審査は各専門分野の物理学者32名が行う
- ・当日のポスター発表は通常のポスター2枚分のスペースで120分行う
- ・ポスター以外の道具（ノートパソコンや実験装置など）を用いてはならない

以上のように厳しい条件で公平に審査が行われます。
岡山県からは今年は倉敷天城の他に岡山朝日、玉野、津山中学、津山高校、津山高専の合計十件が論文審査を通過しました。

■倉敷天城の応募

倉敷天城中学高校は5件が応募し4件が論文審査を通過しました。

当日参加したのは以下の4件（メンバーは当日発表した生徒）です。

〇17JPSA-07　伸長過程におけるゴムの分子鎖のふるまい
岡佳乃、河端亜弥（2R）

〇17JPSA-08　熱音響エンジンの性能向上の研究
～鳴釜神事をモデル化する～
藤田綾矢（中3）

〇17JPSB-34　3段すっ飛びボールの質量比に関する研究
～中段球の質量と上段球が跳ね上がる高さの関係～
宮本華那、横田宇未（1-5）

〇17JPSB-35　タンブラーの側面で踊りだす水の謎
～不規則な振動現象（ガクット現象）の発見～
桑田陽予里、高橋未優、貝原命、難波静空（2R）

■表彰

全80件の中から、最優秀賞1件、優秀賞5件（2～6位）、奨励賞23件、審査員特別賞6件が選ばれました。

■倉敷天城の成績

- ・ゴム班 → 奨励賞
- ・熱音響班 → 審査員特別賞
- ・すっ飛びボール班 → 奨励賞
- ・ガクット現象班 → 優秀賞

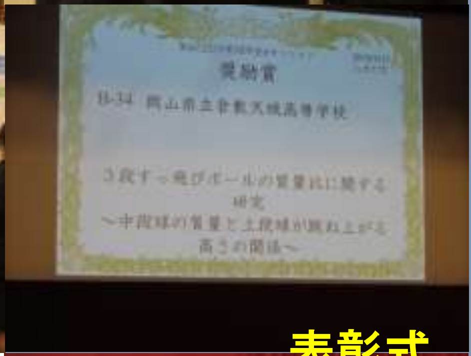
2019.3.17 九州大学にて

優秀賞

奨励賞

奨励賞

審査員特別賞



表彰式

科学の甲子園の観戦